

平成23年度
実施事業

事務事業名 市民自治推進委員会経費

区分	No	名称
章	6	担いあうまちづくり
節	1	協働のまちづくりの推進
施策	1	協働の仕組みの構築
小分類	1	市民参画の場の整備
主要な施策	3	市民参加の場の提供
事務事業番号	002	事業開始年度 平成 21 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	総務部政策推進室	グループ名	政策推進グループ
-----	----------	-------	----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	市民自治等に関する市民の学習機会の場を設けることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	市民自治推進委員会が行う市民を対象とした市民自治フォーラムの開催等を支援する。 【事業実績】 ・第3回市民自治フォーラム開催等支援（平成21年度） ・平成22年度については、平成23年3月13日に開催を予定していたが東日本大震災の影響で中止した。 ・平成23年度については、市民自治推進委員会役員会において実施が見送られた。
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	市民自治推進委員会の方向性が定まった後、同会と協議を行い、まちづくり基本条例等の周知のあり方について再度検討を行う。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	登別市まちづくり基本条例

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	0	0	321	321	321
事業費 合計			0	0	321	321	321

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	市民自治フォーラム等の開催回数	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	0	0			
	市民自治フォーラム等の参加人数	人	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	0	0			

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
<p>これまでに市民自治フォーラムを3回開催したが、平成22年度については、東日本大震災の影響のため、講師が来道できず中止となり、平成23年度については、市民自治推進委員会のあり方等について検討が進められており、市民自治フォーラム等の開催に至っていない。</p>	<p>現在、市民自治推進委員会において、市民自治推進委員会の今後についての検討が進められているところであり、会の方向性が定まった後、会長、副会長と協議を行い、市民自治フォーラム等の開催も含めて、協議を行い、必要な支援を行う。</p>	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 協働のまちづくりを推進するため、その担い手である市民自治推進委員会の活動を支援することは必要と考える。
	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 市民自治推進委員会は市の憲法とも言えるまちづくり基本条例にその設置が謳われている組織であり、条例の理念を実現するために必要な組織。また、市民自治フォーラム等の場は多くの市民に基本条例等の理解を求めめるために必要な場のため。
	市民アンケートの結果から必要性が高い	
	社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 市民自治フォーラム等の開催が定着し、参加者数が一定程度確保できるようになれば、本事業で予算化している講師謝礼等について参加費で対応できると考える。
	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 平成22年度及び23年度において開催できなかったため、成果の把握は困難。
	市民、団体等の声から成果を感じられる	
	目に見える形で成果があがっている	
	成果の把握は困難である	

担当グループによる評価 《Check》

改善	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	市民自治推進委員会の方向性が定まった後、同会と協議を行い、まちづくり基本条例等の周知のあり方について再度検討を行う。
----	----------------------	--

行政評価会議による評価 《Check》

改善	備考	担当グループの案どおり改善を進めること。
----	----	----------------------